

事業所名: グループホーム 中川のより道

作成日: 平成 28 年 2 月 27 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の利用者家族のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事録を参加した家族のみでなく、家族全員に配布する。</li> <li>・会議毎にテーマを決めて全家族に提示し、会議の前にあらかじめ意見を募っておく。</li> <li>・第60回運営推進会議は、節目として10年間の振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマが決まり次第、メールや面談で、意見を募る。</li> <li>・参加できなかった方の意見等を、運営推進会議の場において、発表する。</li> </ul>	6 ヶ月
2	26	利用者や家族と一緒にケアプランを立案する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス内容の中に、家族の役割を盛り込む。</li> <li>・日々の役割や生活リハビリ、レクリエーション、などのケアプラン実施状況を写真を撮り、家族に報告する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプランの作成途中を、家族に見てもらい、意見をもらった上で、完成させる。</li> <li>・ケアプランに、家族の役割を入れる。</li> <li>・写真等を使って、ケアプランの実施状況報告を、本人と家族に行う。</li> </ul>	6 ヶ月
3	6	ホーム独自の身体拘束の定義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中川のより道独自の、個々人の身体拘束の定義に、即さない行為があった場合、即さないことについての原因分析をする。原因は1つではない。</li> <li>・気付かなかった場合は、その理由を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束廃止委員会、ヒヤリハット検討委員会にて、「中川のより道における身体拘束の定義」を検討しているが、定例の月1回の委員会以外にも緊急開催し、原因を掘り下げて分析する。</li> </ul>	6 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月